



たたら純一 活動報告

2期 Vol.9



純ちゃん

魅力ある宇佐市へ

日頃より後援会への御支援、御理解を頂き誠に有難う御座います。例年よりあまり雨が降らなく、空梅雨になりそうな気候で暑い日が続きます。この6月定例議会ではこれまで一般質問した「子ども医療費助成拡大」「急速充電器普及促進」に向けた2つの取り組みが前進しました。これからも子育てし易い環境づくり・子育て世代の負担軽減と自動車ユーザーの利便性向上をパイプ役として、しっかり訴えて参ります。いつでも御相談して下さい。



8番 多田羅 純一 議員

議会報告

専決事項として新型コロナウイルス感染症を防ぐため抗原検査を設置し、検査体制の強化を図るための経費や令和3年宇佐市一般会計補正予算(第3号)や補正予算、議会条例の一部改正など14議案と報告2件を市長から提案され、全議案を可決しました。その他詳細は議会報・宇佐市ホームページ掲載をご覧ください

<新型コロナウイルス感染症対応>

今回の補正額 246,200千円増額累計予算額 30,931,800千円

増額分

- ・新型コロナウイルス検査体制強化事業 27,000千円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 29,100千円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 8,468千円
- ・子育て世帯生活支援特別給付金事業
(ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分) 38,000千円
- ・都市公園整備事業 108,400千円
- ・宇佐海軍航空隊跡保存整備事業 7,800千円

<新型コロナウイルス検査強化事業>

新規感染者数が県内で急増しており、市内においても増加傾向が見られることから抗原検査センターを設置し、検査体制の強化を図る

【開設期間】

5月16日～6月末まで(46日間)

⇒8月末迄延長(協議中)

【実施場所】 うさ抗原検査センター

【検査費用】 無料

活動報告 「市民の皆さんからの要望です」

<子どもが使い易いトイレへ>

宇佐市総合グラウンド横(古代ふれあい広場)にあるトイレで「便座や手洗い場で園児が使いにくい」と保育園の先生から相談があり、市にお願いし設置しました。



子ども用便座・踏み台設置

<不法投棄を市役所と一部撤去>

数十年不法投棄されたままの民家に於いて今回は市道に出ている物だけ撤去し、敷地内の方は地主さんにお願いしました。



実施前

実施後

「一般質問が実現しました」

ついに!高校生まで拡大!!

これまで何度も一般質問で取り上げた子ども通院医療費ですが子育て中の保護者の経済的負担を軽減し、疾病の早期発見と治療を促し子どもの保健の向上を図るため、医療費助成対象を高校生等まで拡充する

- ・通院医療費 高校生まで(小・中学校と同様に) 500円/1回 1医療機関4回/月まで それ以上は無料

期間：令和3年10月1日より予定

充電設備補助県内初!!

再生可能エネルギー利用及び設備の導入を積極的に支援する為、脱炭素促進グリーン環境の整備設備費用の助成を行う

概要

脱炭素促進グリーン補助制度の創設

- ① 法人用充電設備補助(急速充電) 1件あたり50万円(上限)
- ② 家庭用充電設備補助 1件あたり10万円(上限)
- ③ 家庭用蓄電池補助(定置用) 1件あたり10万円(上限)
- ④ 環境保全団体活動支援補助金 1団体あたり5万円

6月議会一般質問概要

市独自の啓発看板を作成しては!!

たたら純一ホームページ
スマホ版も見易くなりました。
(You tubeも見れます)

たたら 純一 検索



問1 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

1 個別接種に於いてかかりつけ医で予約しても直ぐに接種出来ない等、不安な声を聞く。現在高齢者の接種が進む中、課題はあるのか

<答>個別接種の課題はたくさんの予約を受けている医療機関は、日常の診療を続けながらの接種になることや2回の接種を必要とする事から時間と人手を要することが課題である。

2 今後、集団接種が増加するのでないかと思われる。現在ほどの様な状況か。又、接種規模の拡大は検討されているか

<答>5/15 から始まり、毎週土曜日の午後に実施しており、7月は午前・午後と拡大する予定で8月のお盆前の土日まで継集団接種体制を継続する。今後も集団接種の追加を検討している



3 会社員や仕事をしている世代の接種率を上げる取り組みはどの様に考えているか

<答>平日での接種が難しい方は休日の集団接種を受けて頂くようお願いしたい

問2 交通安全啓発について

1 標識のない狭い市道・規制のない農道に於いてスピードが出ている車両が見受けられ、地域から危ないとの声を聞く。現在どの様な制度があるのか

<答>警察や道路管理者と連携しながらカーブミラー、ガードレール等の交通安全施設や交通事故発生現場への看板設置を行っている。

2 市独自の飛び出し注意や速度注意等の看板を作成し、交通安全啓発をしてはどうか

<答>運転手への注意喚起は、道路交通の安全性の確保に有効と考えている。看板の設置に向けて関係機関や団体と協議していく

問3 マリンスポーツの推進について

和間海浜公園でカイトボード(カイトサーフィン)等多くの方々にマリンスポーツやキャンプ等で楽しめる様整備をしてはどうか

<答>市民ニーズを把握しながら公園施設等の充実を図り、魅力ある海浜公園となるよう調査研究を行う



白砂青松の



和間海浜公園

問4 消防団員の人員不足について

1 地域の防災を守る為、人員不足解消に向けた取り組みは

<答>広報誌や市ホームページなど各種媒体を活用し、団員募集しているほか、団員自ら地域住民に入団の働きかけなどを行っている

2 60歳になると退職される方が多いと聞くが課題があるのか

<答>60歳以上の団員の方で個人的に体力的な問題や仕事の関係などで退団される方が多い。今議会で入団要件を18歳以上60歳未満の者から18歳以上の者に改める条例改正を提案している

問5 企業誘致について

工業誘致や商業誘致等、他市に劣らない優遇制度はあるか

<答>企業誘致について県内ではトップクラスの優遇制度を設けているが商業誘致に対する優遇制度は設けていない。市民が期待する商業施設はどういったものなのか等、調査研究していく

<意見書案提出>

2021年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書(案)



2020年度の大分県最低賃金は全国でも最低の792円であり、九州では佐賀、大分、沖縄の3県であり新型コロナウイルス感染症拡大により、社会基盤を支える多くのエッセンシャルワーカーの処遇は低位であり、処遇改善の観点からも最低賃金の引上げは重要である。 . . . (意見書一部抜粋)